

対象工事番号	○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △
--------	-------------------

完了チェックリスト

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

完了実績報告チェックリスト

申請者	氏名又は法人名	工事発注者	(担当者)	連絡先	TEL
事務連絡先	氏名又は法人名	事務連絡名	(担当者)	連絡先	TEL

↑日中に連絡が取りやすい電話番号

提出書

「交付決定通知書」に記載の工事番号を入力して下さい。

提出する必要書類にチェック
 提出の必要がない不要書類に斜線

番号	種別	完了様式番号 添付書類	書類名称	申請者	支援室
			送付する書類に必ずチェックして下さい。		
1	必須	完了チェックリスト	完了実績報告チェックリスト		
2	必須	1-1, 1-2	完了実績報告書		
3	該当者	添付①	事務連絡先の本人（実在）確認ができる書類 交付申請から変更した場合		
4	該当者	添付②	建物所有者の本人（実在）確認ができる書類 交付申請から変更した場合		
5	該当者	添付③	サブリースに係る確認書		
6	必須	2-1	改修工事等証明書		
7	必須	添付④	支払を証する書類		
8	対象工事	2-2(1)、(2)	改修工事の内容：空家等 対象の住戸ごとに作成		
9	対象工事	2-2(3)、(4)	改修工事の内容：共用		
10	対象工事	2-3	施工証明書 証明が必要な対象工事のみ作成		
11	対象工事	添付⑤	性能を証明する書類 証明が必要な対象工事のみ作成		
12	対象工事	2-4	工事写真 対象工事の該当ページを作成		
13	対象工事	添付⑥	検査済証の写し（検査済証が交付される場合のみ）		
14	必須	2-5	確認書（建築士による実施工事内容の適合確認）		
15	必須	添付⑦、⑧	建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し 交付申請から変更した場合		
16	該当者	添付⑨	建築士事務所登録免許証の写し 交付申請から変更した場合		
17	必須	3-1～3-3	改修工事後の対象住戸等概要書 対象の住戸ごとに作成		
18	必須	添付⑩	あんしん住宅情報提供システム登録内容を出力した書類		
19	入居決定	入居報告	入居者決定報告書 入居者が決まった場合		
20	入居決定	添付⑪	賃貸借契約書の写し		
21	入居決定	添付⑫	転居後の住民票		
22	入居決定	添付⑬	収入の確認書類の写し、年間所得金額計算シート、控除額計算シート		
23	入居決定	添付⑭	属性の確認書類の写し		
24	必須	5	支払い請求書 耐震改修工事をした場合（他補助金含む）		
25	対象工事	6	耐震改修工事証明書（建築士による耐震証明）		
26	対象工事	添付⑮、⑯	（耐震改修工事を証明した）建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し		
27	対象工事	添付⑰	（耐震改修工事を証明した）建築士事務所登録証明書等の写し		

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式: 1 - 1】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

申請日： 平成 ○ ○ 年 △ △ 月 ○ ○ 日

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業実施支援室 宛

住宅確保要配慮者あんしん居住推

次の①～③すべて満たしたうえで書類を作成して下さい。

- ①改修工事が完了
 - ②補助対象費用の支払いが完了
 - ③「あんしん住宅情報提供システム」の登録が完了
- ※ただし、協議会の承認を受けなければ補助金のお支払いが出来ません。

1. 対象建物情報の登録につ

対象建物	名称・棟番号	○○マンション									
	住所 〔都道府県名より記入して下さい。〕	〒	1	7	1	-	0	0	2	2	
協議会		東京	都・道	府・県	豊島区南池袋	住所は郵便物などの宛名に使用する住居表示をご記入下さい。					
	<input checked="" type="checkbox"/> あんしん住宅情報提供システム登録済み										

2. 補助事業者の概要

補助事業者	住宅情報等登録システムの「最終更新日」を記入して下さい。										本人確認が印鑑証明による場合は印鑑証明書と同じ印鑑を押印して下さい↓	
	法人の代表者名	太郎										補助事業者印
		(フリガナ)										
		(役職)										印
	連絡先	住所 〔都道府県名より記入して下さい〕	〒	1	3	5	-					
	電話番号	0	3									
	緊急連絡先	0	9	0								
	FAX	0	3									
	E-mailアドレス	anshin△△@.com										<input type="checkbox"/> 特になし

3. 交付決定額（消費税抜き）

↓右詰めで記入して

				2	8	3	3	0	0	0	円
--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---

補助金交付決定通知書の補助金の交付決定額を記入して下さい。

4. 補助金申請額（消費税抜き）

↓右詰めで記入して下さい。（千円未満は切り捨て）

				2	8	3	3	0	0	0	円
--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---

5. 補助金の振込み先【補助事業者名義の口座】

記入事項に間違いがある場合、入金に時間を要する場合がありますのでご注意下さい。

金融機関名	(かた) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ギンコウ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 銀行	
支店名	(かた) △△シテン	△△支店	
銀行番号※	○ ○ △ ○	支店コード※ △ △ ○	預貯金種類 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 貯蓄 <input type="checkbox"/> 当座
本人口座名義	(かた) アンシン タロウ	あんしん 太郎	
口座番号※	△ ○ ○ △ ○ △ △	※銀行番号、支店コード、口座番号は、右詰めで記入して下さい。	

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：1-2】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

6. 事務連絡先の概要（応募・交付申請時と代行申請者が異なる場合、新たな委任状を添付のこと）

本人確認が印鑑証明による場合は印鑑証明書と同じ印鑑を押印して下さい↓
※法人の場合は法人印を押印

事務連絡先	担当者	氏名	(フリガナ)	代行申請者印	<input type="checkbox"/> 特になし	
	所属	法人名	(フリガナ)			
		部署・役職				
	連絡先	住所	〒			都・道府・県
		電話番号				
		緊急連絡先				
	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	FAX				
	E-mailアドレス					
個人の場合	本人確認ができる書類*	<input type="checkbox"/> 運転免許証の写し <input type="checkbox"/> 日本国パスポートの写し <input type="checkbox"/> 在留カードまたは特別永住者証明書の写し <input type="checkbox"/> 印鑑証明 <input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し <input type="checkbox"/> 住民票				
法人の場合	法人の实在確認ができる書類*	<input type="checkbox"/> 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可） <input type="checkbox"/> 法人印の印鑑証明				

申請書に押印する印鑑は統一して下さい。
また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印鑑を押印して下さい。

7. 建物所有者の概要（申請者と異なる場合）

応募交付申請時と変更がない場合は、変更なしにチェックを入れて下さい。

本人確認が印鑑証明による場合は印鑑証明書と同じ印鑑を押印して下さい↓
※法人の場合は法人印を押印

建物所有者 (共有者含む)	建物所有者	氏名又は法人名	(フリガナ)	建物所有者印	<input type="checkbox"/> 特になし	
	法人の代表者名	法人の代表者名	(フリガナ)			
		(役職)				
	連絡先	住所	〒			都・道府・県
		電話番号				
		緊急連絡先				
	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	FAX				
	E-mailアドレス					
個人の場合	本人確認ができる書類*	<input type="checkbox"/> 運転免許証の写し <input type="checkbox"/> 日本国パスポートの写し <input type="checkbox"/> 在留カードまたは特別永住者証明書の写し <input type="checkbox"/> 印鑑証明 <input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し <input type="checkbox"/> 住民票				
法人の場合	法人の实在確認ができる書類*	<input type="checkbox"/> 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可） <input type="checkbox"/> 法人印の印鑑証明				

共有者が複数の場合は、申請者以外の共有者代表1名を記入して下さい。

申請書に押印する印鑑は統一して下さい。
また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印鑑を押印して下さい。

8. 対象住宅の転貸人（対象住戸の入居者への賃貸人が建物所有者と異なる場合に記入してください）

転貸人がある場合は、交付申請要領P26～P29「(別添)サブリースの場合の確認」の提出が必要です。

対象住宅の転貸人	転貸人	氏名又は法人名	(フリガナ)	<input type="checkbox"/> サブリースに係る確認書 交付申請要領の別添様式を使用して下さい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	法人の代表者名(役職)	(フリガナ)		
	連絡先	住所	〒		都・道府・県
		電話番号			
	添付書類*				

※交付申請時から変更なしの場合は添付書類等の提出は不要です。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-1(1)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。用途変更なし・用途変更ありに☑チェックして下さい。

改修工事等証明書

用途変更なし 用途変更あり

本事業の対象となる改修工事を実施した「空家」について記入して下さい。

1. 改修工事の概要

実際の工事期間を記入して下さい。

枠線内に左詰めで記入して下さい。

名称・棟番号	○○マンション															
改修工事の期間	着工日	平成	○○	年	○△	月	○△	日	完了日	平成	○○	年	△△	月	△△	日

完了日はあんしんシステムの■住戸情報の改修工事の竣工年月日と合わせてください。

2. 対象住宅における空家戸数

総戸数 戸 のうち対象住宅戸数 A: 戸 用途変更なし
 対象住宅戸数 B: 戸 用途変更あり

3. 補助対象費用（改修工事）

金額は円単位で記入して下さい。
(千円単位ではありませんのでご注意ください。)

角切り捨て・税抜で記載して下さい。

項目	金額欄										備考	
C 補助対象工事費（賃貸住宅部分）				5	5	0	0	0	0	0	円	上記「1.補助対象工事について」の補助対象工事費（賃貸住宅部分）の金額となり
D C（補助対象工事費）×1/3				1	8	3	3	0	0	0	円	
E1 A（対象住戸数）×50万円				1	0	0	0	0	0	0	円	用途変更なし
E2 B（対象住戸数）×100万円				2	0	0	0	0	0	0	円	用途変更あり
E 賃貸住宅部分の上限額（=E1+E2）				3	0	0	0	0	0	0	円	E1とE2の合計が賃貸住宅部分の上限額になります。
F 補助申請額（賃貸住宅部分）				1	8	3	3	0	0	0	円	DとEの金額のうち、低い方を記入する

※ 補助申請額は交付決定額を上回ることはできません。

4. 支払いを証する書類

支払い方法は、いずれかの方法しか認められません。

支払い方法	支払いを証する書類	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 銀行等金融機関による振込	<input type="checkbox"/> 送金伝票あるいは振込伝票の写し (発行金融機関の印があるもの)	
	<input checked="" type="checkbox"/> A T M利用の際に発行されるご利用明細票の写し	
	<input type="checkbox"/> ネットバンキングによる振込みを証する書類及び当該取引が確認できる通帳の写し（表紙・表紙裏・記帳頁） ※3	
<input type="checkbox"/> ローン契約（金銭消費貸借契約）による支払い	<input type="checkbox"/> ①と②の両方が必要 <input type="checkbox"/> ①信販会社から施工業者への支払いを確認できる書類の写し <input type="checkbox"/> ②発注者と信販会社等間で締結したローン契約書の写し	・クレジット支払いは不可 ・提携ポイント等、日本円でないものは不可

※1 支払いを証する書類とは、改修工事請負契約の発注者（申請者）から請負者（施工業者）へ工事代金を支払ったことが客観的に確認できる書類
当事者の名義以外の支払いは認められませんのでご注意ください。

また、当事者が容易に作成できると考えられる書類は、客観性の観点から支払いを証する書類とはなりません。

※2 現金支払い（領収書）は不可です。

※3 書類不備の場合は対応出来かねます。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】改修工事等証明書

対象工事番号 ○ ○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △

【完了様式：2-1(2)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。子育て支援施設がある場合は☑チェックして下さい。

改修工事等証明書

子育て支援施設

本事業の対象となる改修工事を実施した「空家」について記入して下さい。

1. 改修工事の概要 **実際の工事期間を記入して下さい。**

枠線内に左詰めで記入して下さい。

名称・棟番号	○○マンション					
改修工事の期間	着工日	平成○○年○△月○△日	完了日	平成○○年△△月△△日		

完了日はあんしんシステムの■住戸情報の改修工事の竣工年月日と合わせてください。

2. 対象建物における子育て支援施設数

対象施設数 G : **1** 施設

3. 補助対象費用（改修工事） **金額は円単位で記入して下さい。**

(千円単位ではありませんのでご注意ください。)

切り捨て・税抜で記載して下さい。

項目	金額								備考		
H 補助対象工事費（子育て支援施設部分）			5	0	0	0	0	0	円	上記「1. 補助対象工事について」の補助対象工事費（子育て支援施設部分）の金額となります。	
I H（補助対象工事費）×1/3			1	6	6	6	0	0	0	円	
J G（対象施設数）×100万円			1	0	0	0	0	0	0	円	
K F 補助申請額（賃貸住宅部分）			1	8	3	3	0	0	0	円	賃貸住宅部分の補助申請額を記入する。
L 施設の補助額（子育て支援施設部分）			1	0	0	0	0	0	0	円	IとKの金額のうち、一番低い金額を記入する。
F 補助申請額（賃貸住宅部分）			1	8	3	3	0	0	0	円	交付様式4-1(1)のFの金額を記入する。
M 補助申請額（全体）※			2	8	3	3	0	0	0	円	IとFの金額の合計を記入する。

※ 補助申請額は交付決定額を上回ることができません。

4. 支払いを証する書類

支払い方法は、いずれかの方法しか認められません。

支払い方法	支払いを証する書類	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 銀行等金融機関による振込	<input type="checkbox"/> 送金伝票あるいは振込伝票の写し (発行金融機関の印があるもの) <input checked="" type="checkbox"/> A T M利用の際に発行されるご利用明細票の写し <input type="checkbox"/> ネットバンキングによる振込みを証する書類及び当該取引が確認できる通帳の写し(表紙・表紙裏・記帳頁) ※3	
<input type="checkbox"/> ローン契約(金銭消費貸借契約)による支払い	<input type="checkbox"/> ①と②の両方が必要 <input type="checkbox"/> ①信販会社から施工業者への支払いを確認できる書類の写し <input type="checkbox"/> ②発注者と信販会社等間で締結したローン契約書の写し	・クレジット支払いは不可 ・提携ポイント等、日本円でないものは不可

※1 支払いを証する書類とは、改修工事請負契約の発注者(申請者)から請負者(施工業者)へ工事代金を支払ったことが客観的に確認できる書類のことです。

当事者の名義以外の支払いは認められませんのでご注意ください。

また、当事者が容易に作成できると考えられる書類は、客観性の観点から支払いを証する書類とはなりません。

※2 現金支払い(領収書)は不可です。

※3 書類不備の場合は対応出来かねます。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】改修工事等証明書

対象工事番号 ○ ○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △

【完了様式：2-2(1)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅についてはシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：空家（イ. バリアフリー改修工事）

申請空家毎に作成して下さい。

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☐チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☐チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。
 なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

部屋番号

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 (空家)	手すりの設置 ただし、工事後対象住宅のバリアフリー性の要件となる場合は2箇所以上の対応が必要となる	<input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所 <input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 <input type="checkbox"/> 玄関、廊下又は階段	<input type="checkbox"/> 手すりの設置箇所毎の施工中及び工事後の写真 下地補強を行った場合は当該部分を施工中写真として撮影して下さい。
	段差解消 既存の段差を無視して工事する場合、勝手口等、上り、廊下幅	<input checked="" type="checkbox"/> 勝手口等以外の出入口 施工箇所を下記に記入して下さい。 洋室1出入口 <input type="checkbox"/> 廊下の床 施工箇所を下記に記入して下さい。	<input type="checkbox"/> 段差解消工事箇所毎の施工中及び工事後の写真 勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	おおむね ただし、浴室出入口は600mm以上。	<input type="checkbox"/> 廊下等	撮影してください。
	浴室の改良	<input type="checkbox"/> 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及び短辺の内法寸法が1,200mm以上) <input type="checkbox"/> 浴槽のまたぎ高さを低くする工事 <input type="checkbox"/> 固定式の移乗台、踏み台等の設置 <input type="checkbox"/> 水栓器具の改良（設置・交換）	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 床面積、浴槽のまたぎ高さは寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。 <input type="checkbox"/> 施工した製品のカタログ等の写し
	便所の改良	<input type="checkbox"/> 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上) <input type="checkbox"/> 座便式の便器に交換する工事 <input type="checkbox"/> 座便式の便器の座高を高くする工事	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 床面積、浴槽のまたぎ高さは寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	出入口の戸の改良	<input type="checkbox"/> 開戸を引戸、折戸等に交換 <input type="checkbox"/> 開戸のドアノブ交換 <input type="checkbox"/> 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	階段の設置・改良 既存階段の撤去を伴うものに限る	<input type="checkbox"/> 階段	<input type="checkbox"/> 既存階段の撤去後の写真 <input type="checkbox"/> 階段の勾配が緩和されたことが確認できる改修工事後の写真 踏面・蹴上に寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	転倒防止	<input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所 <input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> 滑りにくい材料や製品であることや工法が確認できるカタログ等の写し <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前、工事後の状況を撮影した写真

補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。
 ☐チェックおよび施工箇所の記入がない場合は補助対象外となりますので、ご注意ください。

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-2(2)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：空家 (八、二)

申請空家毎に作成して下さい。

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☑チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☑チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。

部屋番号	
------	--

なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

居住支援協議会が認める工事内容の確認書類は、事前に管轄協議会に確認し、十分ご理解のうえ申請してください。

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄） 施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
八	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事 建築基準法令に適合したもの	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 賃貸住宅に用途変更する工事を実施したことが分かる施工中及び工事後の写真 <input type="checkbox"/> 改修工事に係る完成図面
二 入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	住宅の間取りの変更に係る工事	<input checked="" type="checkbox"/>	空家 LDK、浴室周りの間仕切り壁・床	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 <input type="checkbox"/> 改修工事に係る完成図面
	設備（台所・洗面等）の利便性向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	空	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
		<input type="checkbox"/>	空家	※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> 断熱性・気密性の性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	防犯性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前及び改修工事後の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
		<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真	

補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。
☑チェックおよび施工箇所の記入がない場合は補助対象外となりますので、ご注意ください。

※ 施工箇所は、施工する箇所の名称を記載するとともに、平面図に番号等で表示して下さい。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】改修工事等証明書

対象工事番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
--------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

【完了様式：2-2(3)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：共用部分（イ. バリアフリー改修工事）

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☑チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☑チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。

なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）	
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 (共 用 部 分)	手すりの設置 ただし、共用部分に設置するものは改修後の対象住宅のバリアフリー性の要件に含むことはできません	<input type="checkbox"/> 共用便所 <input type="checkbox"/> 共用浴室 <input type="checkbox"/> 共用の洗面所又は脱衣所 <input type="checkbox"/> 共用の居室 <input type="checkbox"/> 共用の玄関、廊下又は階段	<input type="checkbox"/> 手すりの設置箇所毎の施工中及び工事後の写真 下地補強を行った場合は当該部分を施工中写真として撮影して下さい。	
	段差解消 既存の段差を無にする工事とする。ただし、勝手口等は差を小さくする工事も含む。	<input checked="" type="checkbox"/> 共用廊下の床 <input type="checkbox"/> 共用玄関・勝手口等、浴室出入口	<input type="checkbox"/> 段差解消工事箇所毎の施工中及び工事後の写真 勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。	
	廊下幅等の拡張 おおむね750mm以上に拡張する工事とする。ただし、浴室出入口は600mm以上。	<input type="checkbox"/> 共用の出入口 <input type="checkbox"/> 共用廊下等	<input type="checkbox"/> 廊下等の拡張箇所毎の施工中及び工事後の写真 寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。	
	共用浴室の改良	<input type="checkbox"/> 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び	
	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。 ☑チェックおよび施工箇所の記入がない場合は補助対象外となりますので、ご注意下さい。</p> </div>			がわかるよ い。 等の写し
	共用便所の改良	<input type="checkbox"/> 水栓器具の改良（設置・交換） <input type="checkbox"/> 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上) <input type="checkbox"/> 座便式の便器に交換する工事 <input type="checkbox"/> 座便式の便器の座高を高くする工事	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 床面積、浴槽のまたぎ高さは寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。	
	共用出入口の戸の改良	<input type="checkbox"/> 開戸を引戸、折戸等に交換 <input type="checkbox"/> 開戸のドアノブ交換 <input type="checkbox"/> 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置	<input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真	
	共用階段の設置・改良 既存階段の撤去を伴うものに限る	<input type="checkbox"/> 階段	<input type="checkbox"/> 既存階段の撤去後の写真 <input type="checkbox"/> 階段の勾配が緩和されたことが確認できる改修工事後の写真 踏面・蹴上に寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。	
	共用部分の転倒防止	<input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所 <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> 滑りにくい材料や製品であることや工法が確認できるカタログ等の写し <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前、工事後の状況を撮影した写真	

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A 4とすること。

対象工事番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
--------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

【完了様式：2-2(4)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：共用部分（ロ、ハ、ニ、ホ）

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☑チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☑チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。

なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

居住支援協議会が認める工事内容の確認書類は、事前に管轄協議会に確認し、十分ご理解のうえ申請してください。

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄） 施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
□	耐震改修工事 昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、現行の耐震基準に適合させるもの	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 耐震改修工事証明書 完了様式6 <input type="checkbox"/> 耐震改修工事を実施したことが分かる施工中及び改修工事後の写真 <input type="checkbox"/> 改修工事に係る完成図面
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事 建築基準法令に適合したもの	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 建築確認申請・完了検査済証の写し <input type="checkbox"/> 賃貸住宅に用途変更する工事を実施したことが分かる施工中及び工事後の写真 <input type="checkbox"/> 改修工事に係る完成図面
ニ	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。 ☑チェックおよび施工箇所の記入がない場合は補助対象外となりますので、ご注意ください。 </div>			
入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	遮音性・防音性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> 遮音性・防音性の性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> 断熱性・気密性の性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	防犯性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前及び改修工事後の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
		<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
ホ	子育て支援施設整備のための改修工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 施工業者の発行する施工証明書 <input type="checkbox"/> その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号

【完了様式：2-3】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

証明年月日： 平成 年 月 日

施工証明書

完了様式2-2においてチェックした下記の工事について、住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業の対象となる改修工事を行ったことを証明します。

国土交通大臣
 建設業許可 又は
 いずれかに (東京) 知事 (特-00) 第 (0) 号
 工事施工者 株式会社 ○○建築
 代表取締役 大工 力
 所在地 東京都中央区日本橋○-○-○
 連絡先 03-○○○○○-○○○○



工事発注者	<u>あんしん 太郎</u>
建物名称・棟番号	<u>○○マンション</u>

分類	工事種別 (要件等)	施工箇所等 (工事チェック欄) <small>空欄の場合は施工箇所を記入して下さい</small>	対象住戸内 部屋名を列記	共用部分 具体箇所を列記
イ 改修 フリー	転倒防止	<input type="checkbox"/> 便所	103	
	<input checked="" type="checkbox"/> 交付申請要領 (参考1) に合致した仕様	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室		
		<input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所		
		<input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室		
二 居住 支援 協議 会 が	遮音性・防音性の向上に係る 工事	<input type="checkbox"/>		
	断熱性・気密性の向上に係る 工事	<input type="checkbox"/>		
	照明 高効率化工事	<input type="checkbox"/>		
	居住支援協議会独自に定める 工事	<input type="checkbox"/>		
ホ 支援 施設	子育て支援施設を整備するた めの工事を実施	<input type="checkbox"/>		

交付申請要領(参考1)P32「転倒防止」に合致した仕様であることをチェックして下さい。

交付申請要領(参考1)P32「転倒防止」に合致した仕様であることをチェックして下さい。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

対象工事番号

【完了様式：2-4(1)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事—手すりの設置)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目／総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所	<input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 <input type="checkbox"/> 玄関、廊下又は階段
------------------------------------	---	---	---

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日) 撮影者： ()

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「手すり設置」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、**施工箇所にチェック**して下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日) 撮影者： ()

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

工事後の写真

「手すり設置」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、**施工箇所にチェック**して下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(2)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事-段差解消)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 勝手口等以外の出入口 <input type="checkbox"/> 廊下の床	<input type="checkbox"/> 勝手口等、上り框、浴室出入口(空家) <input type="checkbox"/> 玄関・勝手口等、浴室出入口(共用部)
------------------------------------	---	--	--

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
--------------------------------	--------------------

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の部分写真

現像またはプリントアウトしたものを

「段差解消」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
--------------------------------	--------------------

工事後の写真

工事後の写真

「段差解消」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(3)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事-廊下幅等の拡張)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 出入口 <input type="checkbox"/> 廊下等
------------------------------------	---	--

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
	撮影者：（ ）	

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の部分写真

現像またはプリントアウトしたものを
のりで貼り付けます。

「廊下幅等の拡張」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
	撮影者：（ ）	

工事後の写真

工事後の写真

「廊下幅等の拡張」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※廊下幅の拡張は、寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号

【完了様式：2-4(4)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事-浴室の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及 び短辺の内法寸法が1,200mm以上) <input type="checkbox"/> 浴槽のまたぎ高さを低くする工事	<input type="checkbox"/> 固定式の移乗台、踏み台等の設置 <input type="checkbox"/> 水栓器具の改良(設置・交換)
------------------------------------	---	--	---

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日) 撮影者： **撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。**

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の部分写真

現像またはプリントアウトしたものを

「浴室の改良」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日) 撮影者： **撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。**

工事後の写真

工事後の写真

「浴室の改良」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(5)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事-便所の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上) <input type="checkbox"/> 座便式の便器に交換する工事 <input type="checkbox"/> 座便式の便器の座高を高くする工事
------------------------------------	---	---

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影者： ()
--------------------------	----------

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の部分写真

「便所の改良」 施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影者： ()
--------------------------	----------

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

工事後の写真

工事後の写真

「便所の改良」 工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号

【完了様式：2-4(6)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事-出入口の戸の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 開戸を引戸、折戸等に交換 <input type="checkbox"/> 開戸のドアノブ交換 <input type="checkbox"/> 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置
------------------------------------	---	--

（撮影日：平成 年 月 日） 施工中の写真 撮影者： **撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。**

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の部分写真

現像またはプリントアウトしたものを
この欄に貼り付けてください。

「出入口の戸の改良」 工事する箇所の**部分写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

（撮影日：平成 年 月 日） 工事後の写真 撮影者： **撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。**

工事後の写真

工事後の写真

「出入口の戸の改良」 工事する箇所の**全体写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号

○ ○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △

【完了様式：2-4(7)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－階段の設置・改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した既存階段撤去後及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

空家

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。

共用部

既存階段撤去後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックして下さい。

既存階段撤去後の写真

既存階段撤去後の写真

「階段の設置・改良」該当写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「階段の設置・改良」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※踏面・蹴上に寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。

対象工事番号

○ ○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △

【完了様式：2-4(8)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事-転倒防止)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家	<input type="checkbox"/> 便所	<input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以	<input type="checkbox"/> 廊下
	<input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 浴室	<input type="checkbox"/> 外の居室	<input type="checkbox"/> 階段
		<input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所	<input type="checkbox"/> 玄関	

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
		撮影者：（ ）

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「転倒防止」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
		撮影者：（ ）

工事後の写真

「転倒防止」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

対象工事番号

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(9)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。

工事写真 (耐震改修工事)

部屋番号

--

箇所番号

--

枚目/総枚数

--

枚

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

共用部

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成

年

月

日

撮影者：)

施工中の写真

「耐震改修」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成

年

月

日

撮影者：)

工事後の写真

「耐震改修」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(10)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事)

部屋番号

箇所番号

枚目/総枚数

枚

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。

空家

共用部

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「用途変更に伴う工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「用途変更に伴う工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

対象工事番号

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(11)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (住宅の間取り変更に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所	<input checked="" type="checkbox"/> 空家	施工箇所を記入してください。
------	--	----------------

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工中の写真

「間取り変更に係る工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「間取り変更に係る工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(12)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (設備(台所・洗面等)の利便性向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	施工箇所を記入して下さい。
------------------------------------	---	---------------

施工箇所を記入して下さい。

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
	撮影者：)	

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「設備に係る工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
	撮影者：)	

工事後の写真

「設備に係る工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(13)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (遮音性・防音性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	施工箇所を記入して下さい。
------------------------------------	---	---------------

施工箇所を記入して下さい。

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影者：()
--------------------------	---------

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の部分写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影者：()
--------------------------	---------

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

工事後の全体写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(14)A】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (断熱性・気密性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に、 ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	施工箇所を記入して下さい。
-------------------------------------	---	---------------

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
--------------------------------	--------------------

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「断熱性・気密性に係る工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
--------------------------------	--------------------

工事後の写真

「断熱性・気密性に係る工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

対象工事番号

【完了様式：2-4(14)B】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (断熱性・気密性の向上に係る工事-塗装工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 共用部
右欄のいずれかに、☑をしてください。
施工箇所を記入して下さい。

____東____面の写真 ※全ての施工面
(撮影日：平成 年 月 日撮影者：) (撮影日：平成 年 月 日撮影者：)

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

東西南北面を記入して下さい。

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「断熱性・気密性に係る工事-塗装工事」**施工中**の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。
(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

「断熱性・気密性に係る工事-塗装工事」**工事後**の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。
(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

____西____面の写真 ※全ての施工面
(撮影日：平成 年 月 日撮影者：) (撮影日：平成 年 月 日撮影者：)

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

東西南北面を記入して下さい。

「断熱性・気密性に係る工事-塗装工事」**施工中**の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。
(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

「断熱性・気密性に係る工事-塗装工事」**工事後**の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。
(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(14)C】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (断熱性・気密性の向上に係る工事-仮設足場)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかに、☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	施工箇所を記入してください。 施工箇所を記入して下さい。
----------------------------	---	--

南面の写真 ※全ての施工面 (撮影日：平成 年 月 日撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 (撮影日：平成 年 月 日撮影者：)
--------------------------------------	---

東西南北面を記入してください。

施工箇所にチェックして下さい。

「断熱性・気密性に係る工事—仮設足場」 施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

「断熱性・気密性に係る工事—仮設足場」 工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

北面の写真 ※全ての施工面 (撮影日：平成 年 月 日撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 (撮影日：平成 年 月 日撮影者：)
--------------------------------------	---

東西南北面を記入してください。

「断熱性・気密性に係る工事—仮設足場」 施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

「断熱性・気密性に係る工事—仮設足場」 工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(15)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (防犯性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	施工箇所を記入して下さい。
------------------------------------	---	---------------

施工箇所を記入して下さい。

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
---------------	--------	--------------------

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

撮影者：)

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

施工中の写真

「防犯性の向上に係る工事」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
---------------	--------	--------------------

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

撮影者：)

工事後の写真

工事後の写真

「防犯性の向上に係る工事」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(16)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (照明や給湯器等の設備の高効率化工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	施工箇所を記入して下さい。
------------------------------------	---	---------------

施工箇所を記入して下さい。

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
--------------------------------	--------------------

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「設備の高効率化に係る工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
--------------------------------	--------------------

工事後の写真

「設備の高効率化に係る工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(17)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (その他居住支援協議会が認める工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

独自の工事内容		
施工箇所 右欄のいずれかに、☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	施工箇所を記入してください。 施工箇所を記入して下さい。

施工中は工事前の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「協議会が認める工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「協議会が認める工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(18)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (子育て支援施設整備のための改修工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

施設名		箇所番号		枚目/総枚数		枚
-----	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

工事内容	施工箇所を記入して下さい。 施工箇所を記入して下さい。
------	--------------------------------

施工中の部分写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
----------------------------	--------------------

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の部分写真

「子育て支援施設を整備する工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の全体写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
----------------------------	--------------------

工事後の全体写真

「子育て支援施設を整備する工事」**工事後の全体写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○ ○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △

【完了様式：2 - 5】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

確認書

(建築士による応募・交付申請書に記載されている改修工事内容の適合確認)

当該報告について、次のとおり改修工事内容を確認し、応募・交付申請書に記載されている改修工事内容と適合することを証明します。

なお、改修工事内容に係る上記の証明について、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したものであることを確認します。

平成 ○○ 年 △△ 月 ○○ 日

(一級・二級・木造) 建築士登録番号：大臣登録 第○○○○○号

建築士の氏名：建築 正

印 ※1

建築士の連絡先：090-○○○○-○○○○

※2

建築士事務所名：△△建築設計事務所

知事登録：○○知事登録 ○○○○

号

所在地：東京都中央区日本橋○-○-○

連絡先：03-△△△△-○○○○

※1 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。

対象建物	名称・棟番号	○○マンション
	部屋番号	101,102,201,202
	施設名	キッズスペース
応募・交付申請書に記載されている改修工事内容と、実際の改修工事内容の適合確認 (確認し☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 現地において、改修工事の状況及び改修工事が完了していることを確認している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> その上で応募・交付申請書に記載されている改修工事内容※1と、実際の改修工事内容が適合していることを確認している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 【完了（証明写真様式）】の改修工事前・施工中・工事完了後の改修工事箇所の写真について、実際の改修工事箇所のものであることを確認している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 対象となる子育て支援施設において、応募・交付申請書に記載されている改修工事内容※2と、実際の改修工事内容が適合していることを確認している。	

※1 応募・交付申請時に提出した「工事請負契約に係る工事費内訳書の写し」や「補助対象工事費内訳書」に記載されてる工事箇所、仕様、数量のことをいう。

※2 改修工事内容を確認した**建築士が交付申請時から変更がある場合は、変更後の建築士の免許証、印鑑証明書の写し**を必ず添付して下さい。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】改修工事内容の確認書

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：3-1】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れず記入して下さい。

対象住戸1戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事後の対象住戸等概要書

本事業の対象となる改修工事を実施した「対象住戸」について記入して下さい。

1. 改修後の対象住戸の概要

枠線内に左詰めで記入して下さい。

名称・棟番号	(フリガナ)			<p>本事業に必要な要件です。 有する設備に必ず☑チェックを入れて下さい。</p>
部屋番号	改修工事後の床面積 ※小数点以下切り捨て	m ²	改修工事後の間取り	
改修工事後の設備の有無 ※右欄の該当するもの全てに☑チェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面設備			改修工事前に無い設備は完了実績報告までに設置する必要があります。
居間、食堂、台所その他の住宅部分について、入居者が共同して利用する住宅の場合、右欄に☑チェックして下さい。				<input type="checkbox"/>
共同して利用する部分に☑チェックして下さい。				<input type="checkbox"/> 居間 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> その他 ()
地域住宅計画において別の空家住宅の面積が定められており、当床面積が当該面積に該当している。該当する場合右欄に☑をして下さい。				<input type="checkbox"/>
バリアフリー性 ※右記のバリアフリー性について、対応が行われているもの全てに☑チェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 以下の箇所に手すり等が 2箇所以上 設置されている <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所 <input type="checkbox"/> 玄関、廊下又は階段（住戸内）			※2 改修工事後の対象住戸内に左記の いずれかの対応 が行われていることが必要となります。
	<input type="checkbox"/> 屋内の段差解消			
	<input type="checkbox"/> 車いすで通行可能な廊下幅の確保			
本住宅（空家）に関する問い合わせ先	法人名等			担当者名
	住所	〒		
	電話番号			
<p>本住宅(空家)に関する問い合わせ先は、必ずご記入して下さい。</p>				
管理期間（改修工事完了後10年以上）中の本住宅に関する問い合わせ先となります。 なお、同一対象住宅に複数の空家があり、問い合わせ先が同一の者となる場合は、いずれか1つの空家についての問い合わせ先を記載していただければ結構です。この場合は名称欄に「○○号室と同じ」と記載して下さい。				
入居状況 ※完了実績報告時において、右欄の該当するほうに☑チェックし、各々必要書類を提出して下さい。	<input type="checkbox"/> 入居者が決定している場合※3	→	<input type="checkbox"/> 【入居報告】入居者決定報告書	
		→	<input type="checkbox"/> あんしん住宅情報提供システムの登録内容を出力した書類	
	<input type="checkbox"/> 入居者が決定していない場合	→	<input type="checkbox"/> あんしん住宅情報提供システムの登録内容を出力した書類	

※1 家賃の上限額は所管の居住支援協議会毎に異なりますので、支援室のホームページをご確認のうえ設定して下さい。

※2 改修工事後の対象住戸内のバリアフリー性が対応されていない場合は補助対象外となりますので、ご注意ください。

※3 対象住戸には、あんしん住宅確保要配慮者（本事業において、入居対象者の要件は、交付申請要領及び支援室のホームページをご覧ください。）

工事完了後の面積を記入して下さい。

2. 整備後の対象子育て支援施設の概要

枠線内に左詰めで記入して下さい。

施設の種類の	施設名	改修工事後の床面積
		m ²
法人名等	担当者名	
<p>申請する空家の住宅要件として、 「入居者が共同して利用する部分」がある場合は、写真提出が必要です。 様式3-4(1)(2)の部屋番号の欄には共用部と記入し、該当部分の写真貼付をしてください。</p>		

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：3-2(1)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

3. 改修工事後の対

完了実績において、
入居者が決定していても

※完了様式3-1で「共用部」がある場合は
共用部と記入して下さい。

写真を取り付けて下さい。

撮影が必要です。写真は番号を付し、改修工事後の平面図と整合させて下さい。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示して下さい。↓

居室の写真	写真番号	○○	台所の写真	写真番号	○○
居室の写真			台所の写真		
<p>「居室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。</p>			<p>「台所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、台所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)</p>		

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示して下さい。↓

水洗便所の写真	写真番号	○○	収納設備の写真	写真番号	○○
水洗便所の写真			収納設備の写真		
<p>「水洗便所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、水洗便所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)</p>			<p>「収納設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、収納設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)</p>		

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：3-2(2)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

3. 改修工事後の対

完了実績において、
入居者が決定していても撮影が必要で

※完了様式3-1で「共用部」がある場合は
共用部と記入して下さい。

況写真を貼り付けて下さい。

写真は番号を付し、改修工事後の平面図と整合させて下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

撮影日は必ず記入して下さい。

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示して下さい。↓

洗面設備の写真	写真番号	○○	浴室の写真	写真番号	○○
洗面設備の写真			浴室の写真		
<p>「洗面設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、洗面設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)</p>			<p>「浴室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、浴室を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)</p>		

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示して下さい。↓

--	--

対象工事番号 ○ ○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △

【完了様式：3-3】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸についてはシートを追加して作成して下さい。

4. 改修工事後の対象住戸写真（バリアフリー対応がなされている場合）

完了実績において、対象住戸に必要なバリアフリー対応がなされていることを確認できる写真を貼り付けて下さい。入居者が決定していても撮影が必要です。写真は番号を付し、改修工事後の平面図と整合させて下さい。改修後に所定のバリアフリー対応がなされていない場合、補助金を交付できませんのでご注意ください。

部屋番号 **申請空家毎に作成して下さい。**

撮影日：平成 年 月 日 **撮影日は必ず記入して下さい。**

改修工事において対応された内容

手すり設置

段差解消

廊下幅の確保

↓写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示して下さい。

箇所名

○○○

写真番号

○○

箇所名

○○○

写真番号

○○

バリアフリー対応の写真

バリアフリー対応の写真

現像またはプリントアウトしたものを

現像またはプリントアウトしたものを

「バリアフリー対応」（手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。

改修工事において対応された内容

手すり設置

段差解消

廊下幅の確保

↓写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示して下さい。

箇所名

○○○

写真番号

○○

箇所名

○○○

写真番号

○○

バリアフリー対応の写真

バリアフリー対応の写真

「バリアフリー対応」（手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。

対象工事番号 ○ ○ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △

【入居報告】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸1戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

入居者決定報告書

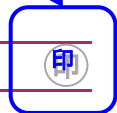
住宅確保要配慮者あんしん推進事業について、**あんしん住宅確保要**
なお、本報告に虚偽の記載があった場合、また、入居対象者要件に適
することを誓約いたします。

申請書に押印する印鑑は統一して下さい。
また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同
じ印鑑を押印してください。

記入日 平成 ○○ 年 △△ 月 △△ 日

補助事業者 氏名又は法人: あんしん 太郎

法人の代表者名(役職) _____



1. 入居者の決定状況

枠線内に左詰めで記入して下さい。

対象建物の名称・棟番号		(フリガナ) ○○マンション ○○マンション	部屋番号	201
入居者の氏名		(フリガナ) トウキョウ イチロウ 東京 一郎	契約した家賃(月額) ^{※1}	(管理費および共益費を除く家賃) 38,000 円
入居者の条件の適合確認	入居者の条件		入居者の条件適合を確認した書類の写し	
	共通		収入の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 源泉徴収票 <input type="checkbox"/> 納税証明書 <input type="checkbox"/> 罹災証明書等 <input type="checkbox"/> 所得証明書 <input type="checkbox"/> 年金振込通知書 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	控除額の確認		<input checked="" type="checkbox"/> 住民票 <input type="checkbox"/> 障がい者手帳等 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	入居者の属性	<input type="checkbox"/> 高齢者世帯	<input type="checkbox"/> 住民票	<input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> その他 ()
※右欄のいずれかに	<input type="checkbox"/> 障がい者等世帯	<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> パスポートの写し	
☑をしてください。	<input type="checkbox"/> 子育て世帯	<input type="checkbox"/> 障がい者手帳等	<input type="checkbox"/> 国立ハンセン病療養所等の長の発行する証明書	
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 賃貸借契約書の写し	<input type="checkbox"/> 戦傷病者手帳	<input type="checkbox"/> 永住帰国者証明書	<input checked="" type="checkbox"/> 転居後の住民票の写し
	<input checked="" type="checkbox"/> 入居者の属性を確認した書類の写し	<input type="checkbox"/> 被爆者手帳	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 年間所得金額計算シート
	<input checked="" type="checkbox"/> あんしん住宅情報システムの登録内容を出力した書類	<input type="checkbox"/> 住民票	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 控除額計算シート

※1 所管の居住支援協議会が定めている月額家賃上限額を超えることはできませんのでご注意ください。

年間所得金額計算シート

対象建物の名称・棟番号	〇〇マンション
対象住戸(部屋番号)	201
世帯において所得のある者の氏名	△△ 〇〇雄

1. 給与所得による年間所得金額

(1) 下表により、就職時期などに応じ、年間総収入金額を計算。

就職時期など	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 現在の勤務先に前年1月1日以前から引き続き勤務している場合	前年分の年間総収入金額 (源泉徴収票の支払金額の欄に記載されている額)	3,800,000 円
② 現在の勤務先に前年1月2日以後に就職し、1年以上勤務している場合	勤務した翌月から12カ月間の総収入金額	円
③ 現在の勤務先に就職してから1年に満たない場合	次により計算した金額 勤務した翌月から申込み月の前月までの総収入金額 賞与 円 - 円 × 12 + 円 = 円 勤務した翌月から申込み月の前月までの月数 ヶ月	円
④ 現在の勤務先に就職してからまだ給与(1カ月分)を受けていない場合	次により計算した金額 雇用条件にもとづき支給が 円 × 12 = 円	円
年間総収入額		3,800,000 円

(2) 次に、(1)で計算した年間総収入金額の区分に応じて、年間給与所得金額を計算。

年間総収入金額の区分	年間給与所得金額
651,000円以上 651,000円未満	年間給与所得金額=0
1,619,000円以上 1,619,000円未満	年間総収入金額-650,000円=年間給与所得金額
1,620,000円以上 1,620,000円未満	年間給与所得金額=969,000円
1,621,000円以上 1,621,000円未満	年間給与所得金額=970,000円
1,622,000円以上 1,622,000円未満	年間給与所得金額=972,000円
1,623,000円以上 1,623,000円未満	年間給与所得金額=974,000円
1,624,000円以上 1,624,000円未満	年間給与所得金額=974,000円
1,625,000円以上 1,625,000円未満	年間総収入金額を4000で割り、その答えの1円未満を切り捨てた後に4000を掛け戻して
1,626,000円以上 1,626,000円未満	AX0.6=年間給与所得金額
1,804,000円以上 1,804,000円未満	AX0.7-180,000円=年間給与所得金額
3,604,000円以上 3,604,000円未満	AX0.8-540,000円=年間給与所得金額
6,600,000円以上 6,600,000円未満	年間総収入金額×0.9-1,200,000円=年間給与所得金額
10,000,000円以上 10,000,000円未満	年間総収入金額×0.95-1,700,000円=年間給与所得金額

給与所得による年間所得金額 (A) **2,500,000 円**

2. 年金所得による年間所得金額

(1) 下表により、年金の受給期間に応じ、年間総収入金額を計算。

年金の受給期間	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 1年以上引き続き年金を受給している場合	前年分の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	円
② 年金を受給してから1年に満たない場合	年金証書の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	円
年間総収入額		円
年齢		歳

(2) 次に、「年齢区分」及び「1で計算した年間総収入金額」の区分に応じて、年間年金所得金額を計算。

年齢区分	年間総収入金額の区分	年間年金所得金額
65歳以上	1,200,000円以下	年間年金所得金額=0
	1,200,001円以上 3,300,000円未満	年間総収入金額-1,200,000円=年間年金所得金額
	3,300,000円以上 4,100,000円未満	年間総収入金額×0.75-375,000円=年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,700,000円未満	年間総収入金額×0.85-785,000円=年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95-1,555,000円=年間年金所得金額
64歳以下	700,000円以下	年間給与所得金額=0
	700,001円以上 1,300,000円未満	年間総収入金額-700,000円=年間年金所得金額
	1,300,000円以上 4,100,000円未満	年間総収入金額×0.75-375,000円=年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,700,000円未満	年間総収入金額×0.85-785,000円=年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95-1,555,000円=年間年金所得金額

年金所得による年間所得金額 (B) **0 円**

3. その他の所得による年間所得金額

(1) 下表により、開業等の時期に応じ、年間総収入金額(=年間所得金額)を計算。

開業の時期	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 前年1月1日以前から引き続き同じ事業をしている場合	前年分の年間所得金額	<input type="text" value=""/>
② 前年1月2日以後に現在の事業を始めた場合	事業を始めた翌月からの所得金額により計算した額	<input type="text" value=""/>

その他の所得による年間所得金額(C)

4. 年間所得金額

(A+B+C)

年間所得金額計算シート

対象建物の名称・棟番号	〇〇マンション
対象住戸(部屋番号)	201
世帯において所得のある者の氏名	△△ 〇〇子

1. 給与所得による年間所得金額

(1) 下表により、就職時期などに応じ、年間総収入金額を計算。

就職時期など	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 現在の勤務先に前年1月1日以前から引き続き勤務している場合	前年分の年間総収入金額 (源泉徴収票の支払金額の欄に記載されている額)	300,000 円
② 現在の勤務先に前年1月2日以後に就職し、1年以上勤務している場合	勤務した翌月から12カ月間の総収入金額	円
③ 現在の勤務先に就職してから1年に満たない場合	次により計算した金額 勤務した翌月から申込み月の前月までの総収入金額 賞与 円 - 円 × 12 + 円 = 円 勤務した翌月から申込み月の前月までの月数 ヶ月	円
④ 現在の勤務先に就職してからまだ給与(1カ月分)を受けていない場合	次により計算した金額 雇用条件にもとづき支給が 円 × 12 = 円	円
年間総収入額		300,000 円

(2) 次に、(1)で計算した年間総収入金額の区分に応じて、年間給与所得金額を計算。

年間総収入金額の区分	年間給与所得金額
651,000円以上 1,619,000円未満	年間給与所得金額=0
1,619,000円以上 1,620,000円未満	年間総収入金額-650,000円=年間給与所得金額
1,620,000円以上 1,622,000円未満	年間給与所得金額=969,000円
1,622,000円以上 1,624,000円未満	年間給与所得金額=970,000円
1,624,000円以上 1,628,000円未満	年間給与所得金額=972,000円
1,628,000円以上 1,804,000円未満	年間給与所得金額=974,000円
1,804,000円以上 3,604,000円未満	年間総収入金額を4000で割り、その答えの1円未満を切り捨てた後に4000を掛け戻して AX0.6=年間給与所得金額
3,604,000円以上 6,600,000円未満	AX0.7-180,000円=年間給与所得金額
6,600,000円以上 10,000,000円未満	AX0.8-540,000円=年間給与所得金額
10,000,000円以上	年間総収入金額×0.9-1,200,000円=年間給与所得金額
	年間総収入金額×0.95-1,700,000円=年間給与所得金額

給与所得による年間所得金額 (A) 0 円

2. 年金所得による年間所得金額

(1) 下表により、年金の受給期間に応じ、年間総収入金額を計算。

年金の受給期間	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 1年以上引き続き年金を受給している場合	前年分の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	円
② 年金を受給してから1年に満たない場合	年金証書の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	円
年間総収入額		円
年齢		歳

(2) 次に、「年齢区分」及び「1で計算した年間総収入金額」の区分に応じて、年間年金所得金額を計算。

年齢区分	年間総収入金額の区分	年間年金所得金額
65歳以上	1,200,000円以下	年間年金所得金額=0
	1,200,001円以上 3,300,000円未満	年間総収入金額-1,200,000円=年間年金所得金額
	3,300,000円以上 4,100,000円未満	年間総収入金額×0.75-375,000円=年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,700,000円未満	年間総収入金額×0.85-785,000円=年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95-1,555,000円=年間年金所得金額
64歳以下	700,000円以下	年間給与所得金額=0
	700,001円以上 1,300,000円未満	年間総収入金額-700,000円=年間年金所得金額
	1,300,000円以上 4,100,000円未満	年間総収入金額×0.75-375,000円=年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,700,000円未満	年間総収入金額×0.85-785,000円=年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95-1,555,000円=年間年金所得金額

年金所得による年間所得金額 (B) 0 円

3. その他の所得による年間所得金額

(1) 下表により、開業等の時期に応じ、年間総収入金額(=年間所得金額)を計算。

開業の時期	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 前年1月1日以前から引き続き同じ事業をしている場合	前年分の年間所得金額	<input type="text"/> 円
② 前年1月2日以後に現在の事業を始めた場合	事業を始めた翌月からの所得金額により計算した額	<input type="text"/> 円

その他の所得による年間所得金額(C) 円

4. 年間所得金額

(A+B+C) 円

控除額計算シート

対象建物の名称・棟番号	〇〇マンション
対象住戸（部屋番号）	201

入居世帯の状況に応じて、下表により、控除額を計算。

控除の種類	控除対象となる方	控除額の計算	控除額	
同居及び扶養親族控除	入居しようとする親族（本人を除く）及び遠隔地扶養親族	38万円/人 × 1 人 =	38 万円	
特別控除	寡婦（夫）控除 次に該当する方 ・ 夫と死別、離婚した後婚姻をしていない方又は夫の生死が明らかでない方で、扶養親族のある方 ・ 夫と死別した後婚姻をしていない方又は夫の生死が明らかでない方で、年間所得金額が500万円以下の方 ・ 妻と死別、離婚した後婚姻をしていない方又は妻の生死が明らかでない方で、生計を一にする子を扶養し、年間所得金額が500万円以下の方	27万円/人 × 人 =	 万円	
	老人控除対象配偶者控除	控除対象配偶者で、70歳以上の方	10万円/人 × 人 =	 万円
	老人扶養控除	扶養親族で、70歳以上の方		
	特定扶養控除	扶養親族（配偶者を除く）で、16歳以	25万円/人 × 人 =	 万円
	障害者控除	次に該当する方 ・ 身体障害者手帳の交付を受けている方 ・ 戦傷病者手帳の交付を受けている方 ・ 知的障害者更生相談書等により知的障害者と判定された方 ・ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方など	27万円/人 × 人 =	 万円
	特別障害者控除	次に該当する方 ・ 身体障害者手帳の交付を受けている方で1級又は2級に該当する方 ・ 戦傷病者手帳の交付を受けている方で特別項症から第3項症までに該当する方 ・ 知的障害者更生相談書等により重度の知的障害と判定された方など ・ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方で1級に該当する方など	40万円/人 × 人 =	 万円

控除額の合計 38 万円

支 払 い 請 求 書

請求者は、申請者になります。

請求額 金

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

 円

ただし、住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業補助金として、上記の金額を請求いたします。

平成

--	--

 年

--	--

 月

--	--

 日

--	--

↑完了様式：1-1 申請日と同じ日付を記入してください。

日付記入の際ご注意ください。
「完了様式1-1」と「完了様式5」は同じ日付が記入されていることを確認して下さい。

住宅確保要配慮者あ

↓申請者の住所をご記入ください。

請求者 住 所

法人名

氏 名
(代表者名)

印

完了様式：1-1と同じ印を押印してください。

対象工事番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↑「補助金交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

振込先、口座名義、口座番号などは、別紙完了実績報告書記載のとおりです。

申請書に押印する印鑑は統一して下さい。
また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印鑑を押印して下さい。

対象工事番号	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：6】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

耐震改修工事証明書

建物名称： ○○マンション
所在地： 東京都○○区○○ △-△-△
規模： 地下 0 階、地上 5 階、塔屋 0 階
構造種別： (木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造)
※該当する構造種別を囲んでください。

上記建物の耐震改修工事については、既存建築物の耐震改修後の耐震診断が「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号、改正平成17年法律第120号）」及び同法第4条の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に照らし、所要の耐震性能を有していることを証明いたします。

なお、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したことを確認します。

記

平成 年 月 日

(一級・二級・木造) 建築士登録番号： _____

建築士の氏名： _____

建築士の連絡先： _____

建築士事務所名： _____

知事登録： _____

所在地： _____

連絡先： _____

印鑑証明書
と同じ印鑑
を押して下
さい。

※1

※2

号 ※3

対象建物を設計・工事監理することができる建築士による確認が必要です。

※当該建築物を設計することができる資格を有する者が証明すること

※1 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。

※3 建築士事務所登録証明書等の写しを必ず添付して下さい。